

# [特集] 新フットサル登録制度

## フットサル加盟チーム登録制度

「加盟チーム登録」に関し、フットサル加盟チームの種別、義務、JFAの登録料などについて、下記の通り定める。

※「フットサル選手の登録と移籍等に関する規則」については49～52ページ参照

### 1.フットサル登録制度の変更

- 2014年度よりフットサル登録制度は、競技志向のプレーヤーのために、現行の「大会ごとのチーム登録+個人登録」から「加盟チーム登録」へ移行し、選手はチームに所属する(2012年度第6回理事会にて承認)。フットサル加盟チームの定義：「JFAが制定したフットサル競技規則に基づき、フットサルを行うチームで、JFAに加盟したもの」
- ビーチサッカーについては、現行通りサッカー登録またはフットサル登録いづれも可とする。
- 外国籍選手を4名以上登録しているチームは、準加盟チームとする。

### ●フットサル加盟チームの種別

- ①フットサル第1種(一般)・・・年齢を制限しない選手により構成されるフットサルチーム
- ②フットサル第2種(U-18)・・・18歳未満の選手により構成されるフットサルチーム(高校在学中を含む)
- ③フットサル第3種(U-15)・・・15歳未満の選手により構成されるフットサルチーム(中学校在学中を含む)
- ④フットサル第4種(U-12)・・・12歳未満の選手により構成されるフットサルチーム(小学校在学中を含む)

※年齢は、当該登録年度開始日の前日(3月31日)現在(サッカーと同じ)

※シニア、女子種別を別途設けない。

### ●サッカーチームフットサル登録(仮称)

U-18、U-15、U-12のカテゴリにおいては、サッカーチーム登録をしていれば、同一チームによる登録の際に、チーム登録料も選手登録料も免除される。

### ●フットサル加盟チームの義務

- ①チーム登録料を納付する。
- ②チームに登録された選手は選手登録料を納付する。
- ③機関誌「JFAnews」(本誌)を購入する(年間購読料5,000円)。  
※JFAnewsにフットサル関連情報を増やす予定
- ④フットサル審判員を1名以上登録する。
- ⑤国際サッカー連盟(FIFA)、アジアサッカー連盟(AFC)、東アジアサッカー連盟(EAFF)、JFA、都道府県サッカー協会、地域サッカー協会が主催しない有料競技会に参加しないこと(フットサルエンジョイプレーヤー登録者を対象とするものは対象外)。
- ⑥監督登録料を納付する(JFA公認指導者登録が完了している監督については免除)。猶予期間を設定する。

### 2.フットサル選手の登録と移籍等に関する規則について(主な事項)

- 選手登録に関する規定…登録を行う義務、未登録選手の公式試合出場禁止、重複登録の禁止

### ●登録区分…プロ選手とアマチュア選手

「プロ選手とは、その所属チームとの書面による契約を有しており、当該選手のフットサル活動の対価として当該選手が被る費用を実質的に上回る支払いを受ける者をいう」

### ●登録有効期間…4月1日より翌年3月31日

### ●シーズン(プロ、アマを問わず適用される)

- ①1シーズン期間中につき、最大3つのチームに登録することができる。この期間中、選手は、最大2チームのために公式試合に出場する資格を有する。
- ②選手は、同期間中に同じ国内選手権(リーグ戦は除く)又はカップ戦において2チーム以上のために公式試合に出場してはならず、個々の競技会規則を遵守しなければならない。

### ●プロからアマチュアへの登録の制限

プロ選手は、プロ選手として出場した最後の公式試合から30日間は、アマチュアとして登録することができない。

### ●トレーニング費用(アマチュア選手がプロ選手として移籍する場合に支払われる費用)については、規定しない。

一般…第1種、シニア、女子(制限なし) U-18…第2種、女子(18歳未満)  
U-15…第3種、女子(15歳未満) U-12…第4種、女子(12歳未満)を含む

### 3.登録料について

#### ●料金体系

(単位:円)

チーム登録料			選手登録料		
カテゴリー	サッカー	フットサル	カテゴリー	サッカー	フットサル
一般	7,000	3,000	一般	2,000	1,000
U-18	2,500	2,000	U-18	1,000	700※
U-15	2,500	2,000	U-15	700	500
U-12	2,500	2,000	U-12	700	500

#### ●基本的な考え方

■チーム登録料は、競技会(JFA、都道府県サッカー協会、地域サッカー協会が主催するもの)ごとに支払うものではなく、当該年度のすべての競技会に出場する資格を得るための料金とする。

⇒結果として、年に2～3回大会に出場しているチームにとっては、JFAへ負担する登録料は大きく変わらない。

■選手登録料(一般1,000円、U-15以下 500円)は、現状のままとする。ただし、U-18を設定する※。

■サッカー同様、男子と女子は同額とする。

■ユース年代については「サッカーチームフットサル登録(仮称)」を実施する。

■地域および都道府県サッカー協会、フットサル連盟にて別途登録料を設定し徴収することができる。

【例】			
県リーグに所属し、「PUMA CUP全日本フットサル選手権大会」と県のカップ戦1大会に出場する、10人の選手が所属する一般チームの場合			
<現状>			
・大会ごとのチーム登録料(チームがJFAへ納める)			
PUMA CUP 全日本フットサル選手権大会	3,000円	}	廃止
県リーグ	1,000円		
県カップ戦	1,000円		
計	5,000円		
・個人登録料(個人がJFAへ納める)			
1人1,000円 × 10人	10,000円		廃止
<2014年4月以降>			
・JFA加盟チーム登録(チームがJFAへ納める)			
加盟チーム登録料(年間)	3,000円		
選手登録料(1人1,000円 × 10人)	10,000円		

#### フットサルチーム登録制度の変更について

	協会			連盟	
	チーム	選手	その他	チーム	選手
全国	(1) 3,000円	(2) 1,000円	機関誌購読料5,000円 監督登録料2,000円(当面猶予)	(3) 2,000円	(4) 2,000円
地域	(5)	(6)		(7)	(8)
都道府県	(9)	(10)		(11)	(12)

# フットサル登録制度がリニューアル

2003年にスタートした「フットサル個人登録」が、2014年4月から「フットサルチーム登録」と「フットサルエンジョイプレーヤー登録」に刷新される。また、ユース年代はサッカーチーム登録をしていればフットサル大会に参加できる制度も設けられる。

チーム登録のサッカーとは異なり、フットサルは選手個人でJFAに登録し、大会ごとにチームでエントリーしてきた。どの大会にも参加でき、異なるチームでも出場できるため、フットサルを楽しむ人々にとって、また、フットサルの普及と発展を目指すJFAにとってもメリットがあった。しかし、近年、各地域や都道府県でリーグ戦等の整備が進んだこともあって競技志向の選手が増加。また、特定のチームに年間を通して所属し活動する選手も多くなってきた。しかも現在、JFAに登録している94%の選手が、チームの代表者等による「取りまとめ」方式によって登録している。こういった選手の意識や環境の変化に伴い、従来の「個人登録+大会ごとのチーム登録」では対応しきれなくなってきた。

最も大きな問題は、地域都道府県サッカー協会が選手とチームの管理ができないということだ。現状の個人登録では、他の協会の管轄下の全国大会予選などにもチームを変えて出場してもチェックが難しく、二重参加を防げない。大会終了後にはチームが解散するため、規律・懲罰の管理も難しい。また、年間を通したチーム登録がないためにチームの指導者登録もできず、指導ポイントの加算もできない。個人登録は、選手には都合が悪い面が多いが、各協会にとっては選手や

### 登録制度の変更

JFAは2012年度第6回理事会(2012年9月開催)および第10回理事会(2013年1月)において、現行の「個人登録」と「大会ごとのチーム登録」から構成されるフットサル登録規程を廃止し、2014年4月から新たに「加盟チーム登録」(※内容は次ページ「フットサル加盟チーム登録制度」を参照)と「エンジョイプレーヤー登録」を設けることを決定した。各協会がフットサルの加盟チームを把握し、管理できるようにすれば、健全かつ円滑な大会運営が行えるようになる。競技する側も年間のチーム登録料を支払うだけでなく、従来のように大会ごとのチーム登録料を支

払う必要はない。ユース年代の選手には、「サッカーチームフットサル登録(仮称)」が適用される。これは、サッカーのチーム登録をしていればフットサルの大会にも出場できる制度で、フットサルのプレー機会創出と育成年代の技術向上に資するものだ。また、高い競技性を特に求めず、余暇でフットサルを楽しむという人々のために「エンジョイプレーヤー登録」も設定された。登録料は無料で、登録者には各種情報が提供される。JFAは「JFAエンジョイ5」のような、エンジョイ志向の選手のための大会を開催し、フットサルのさらなる普及促進を図りながら競技志向への移行も促していく。同時に、エンジョイフットサルに関する収益獲得のため、スポンサーとの提携や広告配信など新たなビジネスモデルの構築にも取り組んでいく予定だ。

これらの新登録制度は2014年の4月からスタートする。松崎康弘の常務理事(フットサル委員長)は、「この制度によって各リーグの運営と選手の競技力の質が高まり、日本代表やFリーグにハイレベルな選手が輩出されることを願っている。また、エンジョイプレーヤー登録を通じてさらにフットサルが広がっていくことを期待を込めた。」

### フットサルの普及と発展を目指して

日本サッカー協会(JFA)は2003年、フットサルの普及と発展を目指し、「いつでもどこでも誰でも」大会に参加できることを目的に「フットサル個人登録」をスタートした。フットサルは、競技性に加えてエンターテインメント性も高く、少人数で

楽しむことができる上、近年ではFリーグの開幕やフットサル日本代表の活躍なども手伝って認知度が飛躍的に向上した。さらに、全国各地に施設が整備、拡充され、「見るスポーツ」「見るスポーツ」として広く浸透してきた。環境や体制が整うにつれてJFAへの選手登録者も増加し、現在は12万人を超える人々が登録選手としてフットサルを楽しんでいる。

### 競技志向選手の増加

チーム登録のサッカーとは異なり、フットサルは選手個人でJFAに登録し、大会ごとにチームでエントリーしてきた。どの大会にも参加でき、異なるチームでも出場できるため、フットサルを楽しむ人々にとって、また、フットサルの普及と発展を目指すJFAにとってもメリットがあった。しかし、近年、各地域や都道府県でリーグ戦等の整備が進んだこともあって競技志向の選手が増加。また、特定のチームに年間を通して所属し活動する選手も多くなってきた。しかも現在、JFAに登録している94%の選手が、チームの代表者等による「取りまとめ」方式によって登録している。こういった選手の意識や環境の変化に伴い、従来の「個人登録+大会ごとのチーム登録」では対応しきれなくなってきた。